



創立70周年「つづく つながる 夢を育てる学び舎」

令和3年(2021年)8月27日

国立二小だより

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

今できることへの挑戦

校長 小林 理人

夏休みとともに始まった東京2020オリンピックが終わり、24日からはパラリンピックが始まっています。コロナ禍の夏休み、ご家庭でオリンピック等のテレビを見て過ごす時間が多くなったのではないのでしょうか。私も、夏休みはテレビでのオリンピック観戦をしました。日本の選手が活躍した種目を中心に観戦し、全力を出し切る選手の姿と、その結果をかみしめている笑顔や涙が印象に残りました。特に、目標を達成した後の選手の表情や言葉が心に残りました。

「あきらめずにここまでやってこられたのは自分の力だけではなく・・・」と感謝の思いを語る姿は清々しく晴れやかでした。そして、選手を支えたご家族や様々な関わりのある人たちの喜びにも共感し、共に笑ったり涙を流したりしました。

子供たちや皆様も、心に残った場面や出来事があったのではないのでしょうか。2学期は、子供たちが感じたことや、それを言葉で表したり人に伝えたりすることを大切にして、オリンピック学習をまとめたいと思います。そして、そのことが子供たち自身のレガシー(心に残るもの)として生活の支えや人生の指針となるように指導していきたいと思います。

さて、先日配信された国立市教育委員からのメールにあったように、国立市では、感染症予防対策を一層徹底していく中で、当初の予定どおり2学期の学校生活を開始することを決定しました。

感染者数の急激な増加や緊急事態宣言の延長、ワクチン接種への対応等、手探りで先の見えない中での生活が続いています。今のところ、夏休み期間中の事故や感染症に関わる情報はありません。保護者、地域の皆様の感染症への細やかな対応、健康管理等のご配慮に心から感謝申し上げます。

感染力や重症化率の高いデルタ株の流行による感染者数や重症患者数の増加への不安を抱えながらの2学期のスタートになりました。感染症への対策は、緊急事態宣言の延長やワクチン接種など社会全体の対策も進められていますが、私たちができることは今までと大きく変わるものではありません。ウイルスのことや現状を正しく理解し、これまで続けてきた感染リスクを考えた行動をこれまで以上にしっかりと行いたいと思います。

昨年度から継続しているコロナ禍は、なかなか終息の道筋が見えません。保護者、地域の皆様には毎日の対応や健康管理等に加え、学校生活に関わるご配慮、ご協力を引き続きお願いしなければなりません。本校では、国や都、国立市の方針に基づき、変化する状況に柔軟に対応しながら、これまで同様、子供たちの安心、安全を最優先し、「4つのない」を意識した学校生活を継続していきます。

保護者、地域の皆様には、「9月の学校生活」の内容や「9月の行事予定」をご確認いただき、ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

二松クラブや盆踊り、野外体験教室など夏休みの行事等がなかったこともあり、久しぶりの登校になった子供たちが殆どです。子供たちが学校生活に慣れ、日常生活のリズムづくりができるよう、子供たちの心に寄り添い、ゆとりをもって2学期の生活や学習を始めたいと思います。そして、子供たちが安心して過ごし、夏休みに蓄えたエネルギーを、楽しみにしている活動に活かせるよう、今できることに挑戦する2学期にしたいと思います。